

1 One TEAM REPORT



緩和ケアチーム

緩和ケアチームは、医師・看護師・薬剤師等の多職種の医療スタッフで構成されています。治療開始当初から、癌や治療に伴う痛み、その他身体症状、心のつらさ、家庭や仕事に関する気がかりなど、がん患者さんやご家族の全人的苦痛を緩和し、がんと共に生活しながら生活を送れるよう、患者・家族、多職種で話し合いケアを行っています。

緩和ケアチームが介入する過程では、患者さんの物語を聴きながら、その人らしさや患者さんにとっての希望や価値観は何か、一緒に笑いながら、時には泣きながらACP（人生会議）を行います。その過程の中で見つかる「家族と一緒にご飯が食べたい」「愛犬と過ごしたい」などの希望に寄り添い、その方にとっての当たり前の生活やその人らしさを支援することを大切にしています。

コロナ禍の中、様々な課題もありますが、安心して過ごせるためには何が必要か話し合いながら、地域医療スタッフとも協働し今後も支援を行っていきます。

緩和ケアチームの ミッション

理学療法士・作業療法士：
残された機能を最大限に活用して生活するためのリハビリを行う。

医師：
がんに伴う様々な症状をコントロールする。

医療ソーシャルワーカー：
患者・家族の生活全般（経済面、就業面、療養生活）をサポートする。

看護師：
トータルペインの視点で患者・家族へのケアを行い、多職種間の調整を行う。

臨床心理士：
がんに伴う心の問題に対し、心理学的立場から専門的なサポートを行う。

薬剤師：
疼痛をはじめとしたさまざまな症状をコントロールするための薬剤の提案、指導を行う。

管理栄養士：
がんに伴う症状のために食事が進まない時の工夫やアドバイスをを行う。



緩和ケアカンファレンス



病棟ラウンド



チーム介入中の患者さんとのクリスマス会

※こちらの写真は、コロナ禍以前に撮影したものです